

「おい、見えてますかあ？」

「う…うん…見えてる…」



「見えてるっぽいですねえー
ならよかつたー」



「お前のお願い通り寝取らせプレイ
やりに来てやつたんだから
感謝しろよおーおい♡」

「ふつーはよおーこんなこと
好き好んでやんねーんだからよおー」

ニヤニヤ



「なんか随分楽しそうに話してますね」

「…あ、彼氏さんどうもー
今回頼まれた○○○ですー」

「あ、お…お願いします…」



「まあそりゃあ一応彼氏ですから？
楽しそうに話しますって」

「…彼女に寝取らせお願いするような
超が付く程のド変態のアホですけど」

「う…うう…ごめん…」



「アホなのは間違い無いっすね」

「ていうか本当に俺に寝取らせていいんすか？」

「え…そ、それって…？」

「あー、俺とやったことある子
大概俺にどハマりしちゃうんで…
大変なことになりますけど…っという」



「だ…大丈夫…です…」





「…あ、いいんすね…なら分かりました」

「じゃういちちゃん、通話切る前になんか言っただげて」

「なんかえらそーにもの言ってましたけどー
ただ少しセックスするだけなんでねえ」

「そんなんでドハマリなんて
バカかよって話ですよ」

「すぐお前んとこ戻ってやるから
…待ってるよ♡」

「う、うん…!!」



「…はい…つーことで、
また後で通話しますわ」







ほー♡

♡

♡

♡♡♡

♡♡♡

ざ♡

♡

♡

♡♡♡

ざ♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

「どう? ういちゃん
気持ちいいでしょ」

「ういちゃん
気持ちいいでしょ」



「べ…別に気持ちよく…
ないですけどお…?」

「あんな喘いでたくせに
強がっちやってさあ…」







ドクッ

うわーっ♡

ほわーっ♡

グッ♡

あ♡

しっ♡

おっ♡

アッ♡

ズッ♡



♡♡

♡♡

♡

はあー...う...はあー...

はあー...う...はあー...

♡

はあー...う...はあー...

んん♡

んん♡

んん

んん

「ちよつと強めにしたけど
.....どうだった？」





「どうもいっつもねえよ...♡」

ヨキヨキ♡

ググ♡

♡

♡

♡

「へ〜…まだ強がるんだ…」

「本当のことと言わないと
もう続きしてやんないよ？」





Boooooo



♡♡♡
好きだよ♡♡♡
♡♡♡

「よく言えました
……ご褒美あげなきゃね」

ドキ♡





「出すよ」

すちっ♡

ぐちゃぽ

♪♡

♡ち♡

♡ぬっちゅ♡



ズンズン...♡♡♡

ずんずん...♡♡♡

ググ♡

ググ♡

ググ♡

ググググ♡

ググググ♡

ググググ♡

ググググ♡

ググググ♡



はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡

♡♡

♡

「……まだやるよね？」

「…好きにしるよお…♡」

数時間後

「お…遅いな…かかってくるの…」

「今、何やつてるんだろ…」



「お、きた…!」

「あゝ通話遅れちゃってすみません」

「ういがねえ…♡
思ってたよりドハマリしちゃってえ…」

もあ…♡

やあ♡



「いやあ…別に…?」
ドハマリとかしてませんけどお?

「あなたがもつとやろうって
言い出したんじゃないですかあ?」

「ういーういーつてみっともなくさー♡」



「まあそういらいといじとねねちよ♡」

「あ…えと…その…
ういちゃん、どう…だった？」





ドキッ

「……ええ……?」

「まあ…お前よりかは…
ふつ…に上手かったけどお…?」

「大きさも…まあ…全然違うし?
スタミナも…よゆ…でこっちのが…」

「お前が勝つてるとこあんのかなあ…
って感じだったけどね」

ニヤァ♡



「大きさとか特にさー…
お前のに比べて…これだもんなあ…♡」

「気に入ってくれました?」

ビギン♡



「あいつのに比べたら大きい…
っただけですからあ…
別に気に入ってませんけどお」

「らやらや、ぬいぬい…♡」



「はいはい♡」

「…それは言わない約束だろーがよ」

ぐい



「…それで、次どうします?」

「っ…次って…それは…」

「ういはどうしたい?」



「…まあ…」

普通に気持ちよかった…んでえ…
またやってやってもいいけどお…」

「って言ってますけど♡」





「……うう……」

「どうなんだよお……」

「……♡……」

「了解♡」

「また今度…お願いします…」



数ヵ月後

「はーよかったよかった…♡」

「いやあー…♡
にしてもういもすっかり俺好みの女になったな♡」

ムーっ♡

ドロクっ♡

正正

「はー？どーゆーことですかあ？♡」

「いや、どうもこうもないだろ♡
すっかり肌も焼けて髪も染めて♡」

「俺の女って感じがして安心するわ♡」

正正T



「ま、それはいいけど…
彼氏にもたまにはかまってやれよ♡」

「一応これ、寝取らせつて
ことなんだからなあ？」

「はあ…」



「別にもう愛想尽きてますからあ
そもそも寝取らせって何？つて感じだし」

「彼女大切にしていたら
頼まねーだろふつーはよー…」

「そりゃあそうなんだけどさ♡」



「あんな粗チン相手にすんのも
めんどくせーしよー」

「気持ちよくないんだわーそもそも…」

「…イライラしてきた…」



「イライラしたからもちかいハメて」

「待ってました♡生でいい?」

「……」

正正T



「いいに決まっつてんだろーがよ♡」

